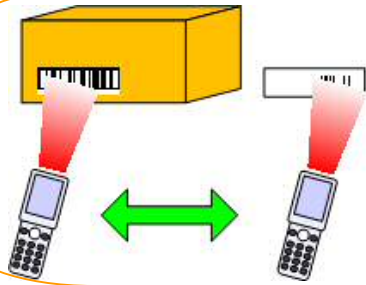
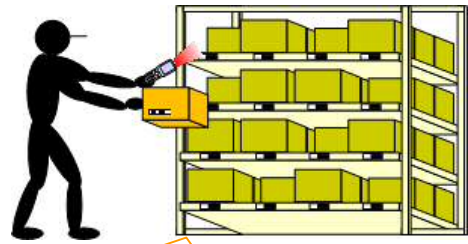




照合検品

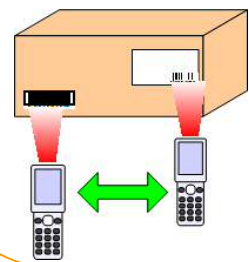
スキャンする2つのバーコードが同一かどうかチェックする機能です。単純な機能ですが、物流現場では様々な使用用途があります。

■棚入れミスのチェック



棚入れする商品のバーコードと棚札のバーコードをスキャンして同一商品かのチェックを行う。

■ケース商品ラベル貼り間違いチェック



ケース出荷ラベルのバーコードと商品のバーコードをスキャンして商品違いが無いかのチェックを行う。

Handy Terminal System

ハンディターミナル導入のポイント

作業精度を上げるにはハンディターミナルによるバーコードスキャン検品を行うのが、最も有効です。また近年、導入コストも下がってきました。運用別にハンディターミナル検品システムの導入ポイントをまとめました。

■精度向上

■熟練者不要

■生産性向上

ピッキング

入荷検品

出荷検品

棚卸

照合検品

System Design



ハンディーハード選定

ハンディターミナルはメーカーにより特徴がありますので、様々なポイントから機種選定すべきです。

- 耐久性
- 操作性
- 重さ
- スキャン精度
- レーザー発行向き
- 持ち安さ
- 現場環境
- バッテリー使用時間
- 通信ミドルウェア対応機種
- パッケージソフト対応機種
- OSや開発言語



無線ハンディターミナル



携帯プリンタ



大画面無線ハンディターミナル



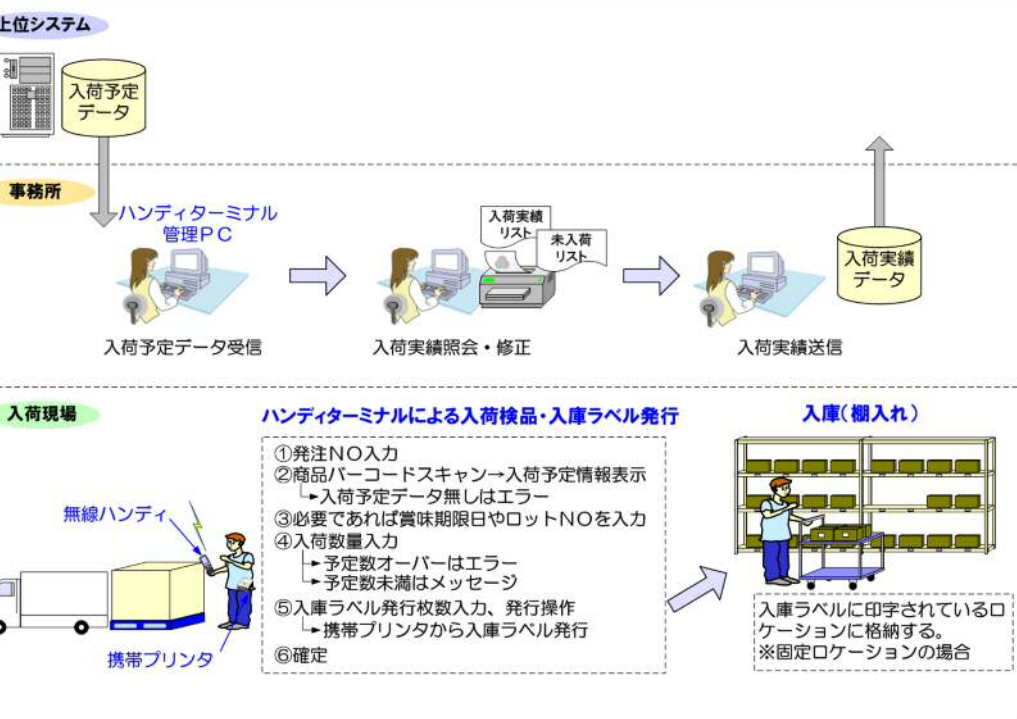
冷凍仕様・ロングレンジ無線ハンディ



台車搭載小型プリンタ

入荷検品 入庫

- ・上位システムからの入荷予定データを基に入荷検品を行ないます。
- ・携帯プリンタより入庫ラベルを発行して入庫指示につなげます。



- 導入効果**
- 商品バーコードをスキャンすることにより、商品知識が無い人でも正確な検品が行えます。
 - 予定外や数量オーバー、数量不足がその場でチェックできます(システムが教えてくれる)。
 - 現場での入荷検品実績が事務所側にリアルタイムで送信されます。
 - 日付(賞味期限日や製造日)やロットNOを現場で入力できます。アラームを出すことも可能。
 - 入庫ラベルを即発行して入庫(棚入れ)作業に繋げることができます。
 - ペーパーレスの入荷検品が可能です(入荷予定リスト無しでも検品可能)。

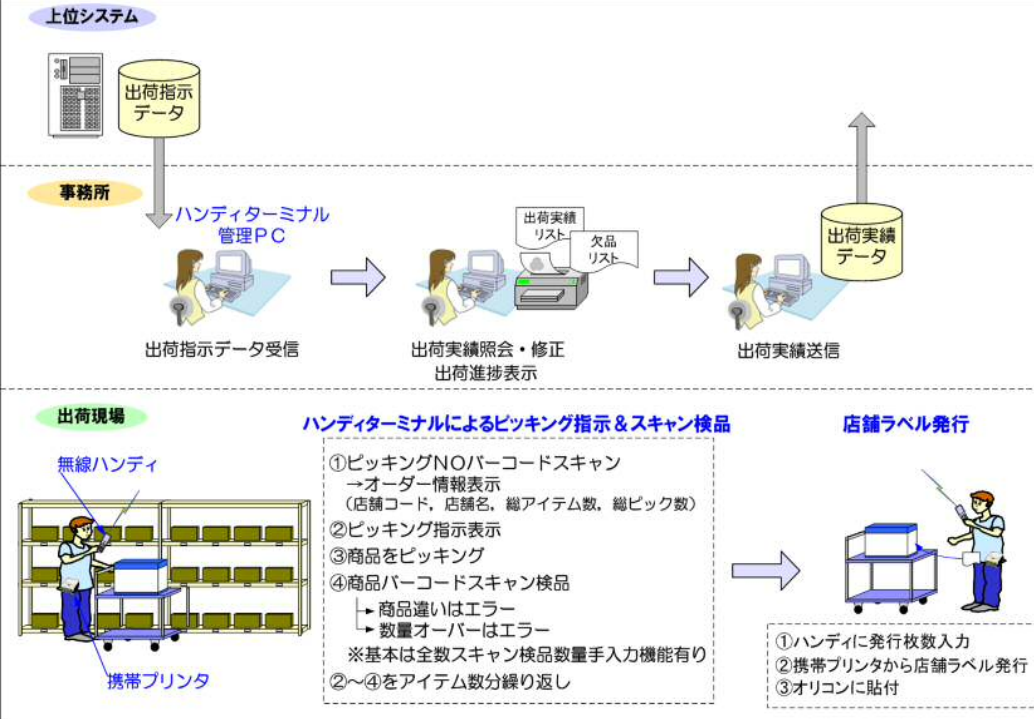
アドバイス
イレギュラー運用の洗い出しとその対応方法をしっかり決めることが重要です。現状は人的に臨機応変に対応してても、システム導入の場合は、仕様決めをしなければいけません。

- **バーコード無し商品の対応**
どうやって入荷予定データ呼び出すか。
- **分納時の対応**
1つの商品が2回に分けて入荷される場合の対応。
- **日付やロットNOが複数ある場合の対応**
1つの商品で複数の日付、ロットNOのハンディでの入力方法や入荷実績データ管理。

- **複数入荷予定データ対応**
1つの商品の入荷予定データが複数行発生する場合の対応
- **予定外商品対応**
受け付けないのが基本だが、仕入先との交渉の上、入荷を受け付けることになった場合の対応。

ピッキング

- ・上位システムからの出荷指示データを基にピッキング&スキャン検品を行ないます。
- ・商品知識の無い作業員でも間違いの無いピッキングができます。



- 導入効果**
- 商品バーコードをスキャン検品しますので、商品知識ない人でも、商品間違いミスなくピッキングできます。
 - 現場でのピッキング実績がPC(事務所側)にリアルタイムで送信されるので出荷進捗管理が可能です。
 - ペーパーレスのピッキングが可能です。(ピッキングリスト無しでもピッキング可能)。
 - ハンディからのデータで作業員別生産性データを取得することができます。

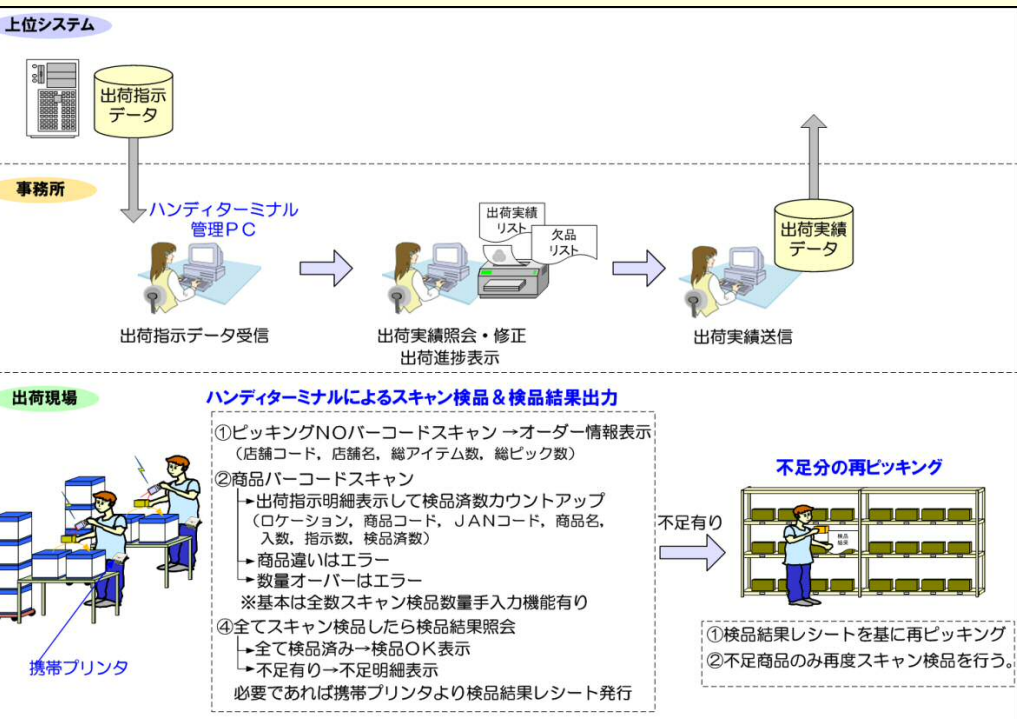
アドバイス
ハンディターミナルでのピッキングシステムを導入する際の重要ポイントは、いかに生産性の高いピッキングができるかです。

- **エリア分割**
倉庫スペースが広くなると、エリア分割された範囲をピッキングして、荷合わせをした方が効率よくピッキングできます。
- **分割ピッキング**
出荷物量や容積計算で1件のデータを分割して、ピッキングすると台車上コンテナを逃がす必要がなくなります。

- **マルチピッキング**
1つの出荷先当たりの出荷行数が少ない場合、複数出荷先をまとめてピッキングすると作業効率が上がります。
- **生産性目標値**
ピッキング終了後にハンディ画面に生産性結果などをアナウンスすると、生産性に対する意識が向上します。

出荷検品

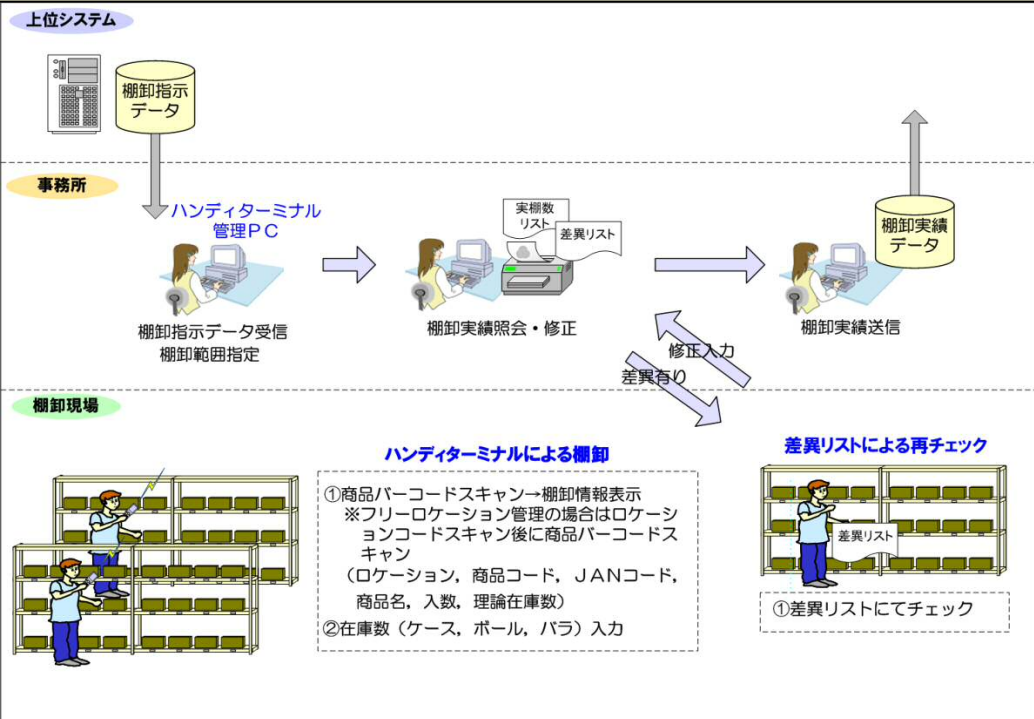
- ・上位システムからの出荷指示データを基にスキャン検品を行ないます。
- ・検品結果を携帯プリンタから出力して、欠品フォローにつなげます。



- 導入効果**
- ピッキング時に商品バーコードをハンディでスキャン検品しますので、商品知識ない人でも、検品ができます。
 - 梱包直前の検品なので、検品結果に基づき納品明細書発行などが可能です。
 - ピッキングはデジタルピッキングで行い、ピッキング後に抜き打ち検品(全件ではなく数件を検品)をハンディを使って検品しているセンターもあります。

棚卸

- ・上位システムからの棚卸(理論在庫)データを基に棚卸を行ないます。
- ・HHTでの入力値がリアルタイム送信されますので、管理PCで即、差異照会等が可能です。



- 導入効果**
- 商品バーコードをハンディでスキャンして実棚数を入力しますので、商品知識ない人でも棚卸ができます。
 - 現場での棚卸実績がPC(事務所側)にリアルタイムで送信されるので現場棚卸が終わったアイテムはすぐに差異の確認ができます。
 - 棚卸で数量をメモ取る必要もなく、PCに実棚数を入力する必要もないので棚卸時間が大幅に短縮されます。
 - 棚卸を多人数でやる場合、実棚数をカウントして数量記入したメモ貼りする人、その数量をハンディで入力する人、など手分けして棚卸するのも一つの手です。